

精神障がいに知り添う…

第16回 みなとこころの講座

～こころを癒す音楽と、ためになるお話と～

みなと人権展参加イベント

感じてみませんか？ 発達障がいの世界



講演

14:45～

誰もが安心して暮らせる地域、多様な生き方や自分らしさを堂々と発信できる社会とは…。

ひと口に発達障がいと言っても、その特性、表れ方は様々です。目には見えにくい生きづらさを抱えている方も中にはいらっしゃいます。今回は、ご自身が発達障がい、発達障がいのある3児の子育てにも奮闘された笹森理絵さんに、具体的なエピソードを交えながら、お話しいただきます。そこには、私たちの知らない独特の感性や、素敵な世界があるかもしれません。見て、聞いて、感じて、知り添って、みませんか？オープニングでは、高橋紗都さんによるギターの演奏を。また、障がい者アーティストによる絵画展も同時開催。

ささもりりえ 笹森理絵

32歳で発達障がいと診断を受ける。3人の息子もそれぞれに発達障がいを持っている。当事者・母親・社会福祉士・精神保健福祉士などの多様な視点を活かして、発達障がいダイバーシティサポーター（多様性＝ダイバーシティ）として、全国で講演会や研修会の講師として活躍。執筆活動や、メディアでの啓発活動も行い、幅広く活動している。著書「私の息子三人は発達障害です。何か？」他。



音楽

14:00～

たかはしさと 高橋紗都

7歳の時、ギター音楽を耳にし、その音色に魅了されギターを習い始める。9歳の時、自閉症スペクトラム症の診断を受ける。12歳の時、自身の内面世界を綴った、「うわわ手帳と私のアスペルガー症候群」を出版。2014年、第41回日本ギターコンクール高校生部門金賞。同コンクール上級部門銀賞。現在、相愛大学音楽学部の科目履修生で、大阪を中心に演奏活動を行っている。

平成30年12月1日(土)

午後2時～4時30分(受付 午後1時30分～)

ゆめホーム「ゆめ」かなえる

港区民センター1階ホール

大阪市港区弁天2-1-5 (JR・地下鉄弁天町駅から徒歩7分)

定員：150名 ※対面手話通訳あり

受講料：無料 申込み：不要

問合せ：港区社会福祉協議会

TEL:06-6575-1212 FAX:06-6575-1025

『みなと人権展』
のお知らせ

にしわきなおき しばさきえり
西脇直毅 芝崎絵里

11/30金～12/4火 (午前10時～午後8時) ※初日は午後2時から、最終日は午後5時まで
港区民センター全館にて、人権啓発パネル展示、講演会、音楽会、港区内小中学生の人権啓発標語作品の展示など、多彩な催しをおこなっています。

主催：大阪市港区保健福祉センター / 社会福祉法人 大阪市港区社会福祉協議会

特定非営利活動法人 障害者の福祉を進める会みなと / 社会福祉法人 精神障害者社会復帰促進協会

協力：手話サークル みなと / 大阪みなとステージオペレータークラブ / 港区精神保健福祉ボランティアグループ しおり